

2013年3月期 第2四半期 決算説明資料

ブラザー工業株式会社

2012年11月2日

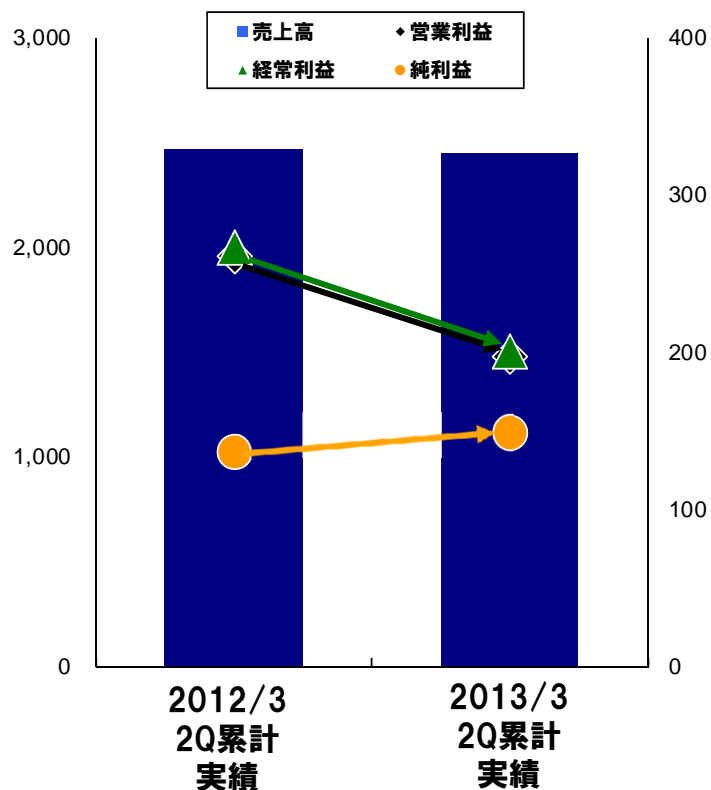
当資料に掲載されている情報のうち歴史的事実以外のものは、発表時点で入手可能な情報に基づく当社の経営陣の判断による将来の業績に関する見通しであり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、経済動向、為替レート、市場需要、税制や諸制度等に関するさまざまなリスクや不確実要素により大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。

2013年3月期 第2四半期累計実績

(億円)

売上高

利益



USD	79.73	79.43
EUR	114.09	101.12

()は為替影響を除いた増減率 単位: 億円

	2013年3月期 2Q累計実績	対前年実績増減
売上高	2,445	2,466 Δ 20 Δ 0.8% (+2.7%)
営業利益	196	260 Δ 64 Δ 24.6%
経常利益	200	267 Δ 66 Δ 24.8%
純利益	148	136 +13 +9.5%

◆対前年比較でのポイント

- ✓ 売上高は、為替のマイナス影響や市況悪化に伴う工業用ミシンの大幅な減収はあったものの、産業機器と通信カラオケが堅調に推移し、ほぼ前年並みの水準を確保
- ✓ 営業利益は、主に為替のマイナス影響により、減益となる
- ✓ 四半期純利益は、税効果会計の影響により、法人税等が減少したことにより、増益となる

2012年度上期に発売・発表した新製品

brother
at your side

<P&S/新規事業>SOHO・SMBのお客様のビジネスをサポートする新製品を発表・投入



モノクロレーザー
複合機
MFC-8950DW



モノクロレーザー
プリンター
HL-6180DW

- ・モノクロ40枚/分の高速プリントエンジン搭載。モノクロレーザーのハイエンドモデルの複合機・プリンターのラインアップをフルモデルチェンジ
- ・耐久性が20万枚から30万枚へと大幅アップ
- ・待機時の消費電力を大幅削減



インクジェット複合機
MFC-J4510N

- ・大型プリントヘッド搭載でクラス最速の印刷スピードを実現
- ・奥行290mmのスリムボディでもA3プリントを実現
- ・クラウド接続機能で多彩なサービスが利用可能に
- ・スマートフォンのように簡単な操作ができる新タッチパネル



ドキュメントスキャナー
ADS-2500W



モバイルスキャナー
MDS-700D

- ・ネットワーク対応のスキャナーのラインアップを拡張
- ・PCLレスでクラウドサービスへ直接アクセス(ADS-2500W)
- ・高速読取24枚/分、最大50枚まで一度にセット可能(ADS-2500W)



Web会議システム
Omnijoin

- ・独自の技術により高画質・高音質なWeb会議を実現
- ・直感的でわかりやすいユーザーインターフェースを実現
- ・初期費用無し。ローコストで導入可能



高速インクジェット
プリンター
HL-S7000DN

- ・デスク上にもおけるコンパクトな本体ながら、A4モノクロ印刷で最高100枚/分の高速プリントを実現
- ・低消費電力で環境にも貢献
- ・プレコートシステム採用でインクのにじみを押さえ、高い印字品質を実現

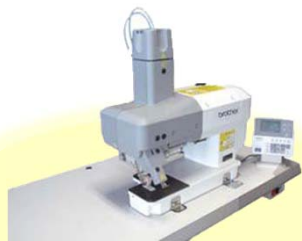
<P&H>業界初の機能を搭載した上級ユーザー向け刺繍ミシンを投入



Innov-is V7

- ・スリムボディながら約29cmの広い縫製スペース
- ・超音波ペンでのワンタッチ縫製位置指定
- ・直進性をサポートするレーザーガイドライン

<M&S>世界初となる接着剤タイプのボンディングマシンを発表



ボンディングマシン
BM-1000

- ・接着剤を塗布しながらの貼りあわせで高い生産性を実現
- ・専用接着剤で高く安定した接着品質
- ・マシンと似た操作性で使いやすさも実現

<N&C>JOYSOUND、UGAの技術とノウハウを結集した新フラッグシップモデル 業務用通信カラオケシステム「JOYSOUND f1」シリーズ発売

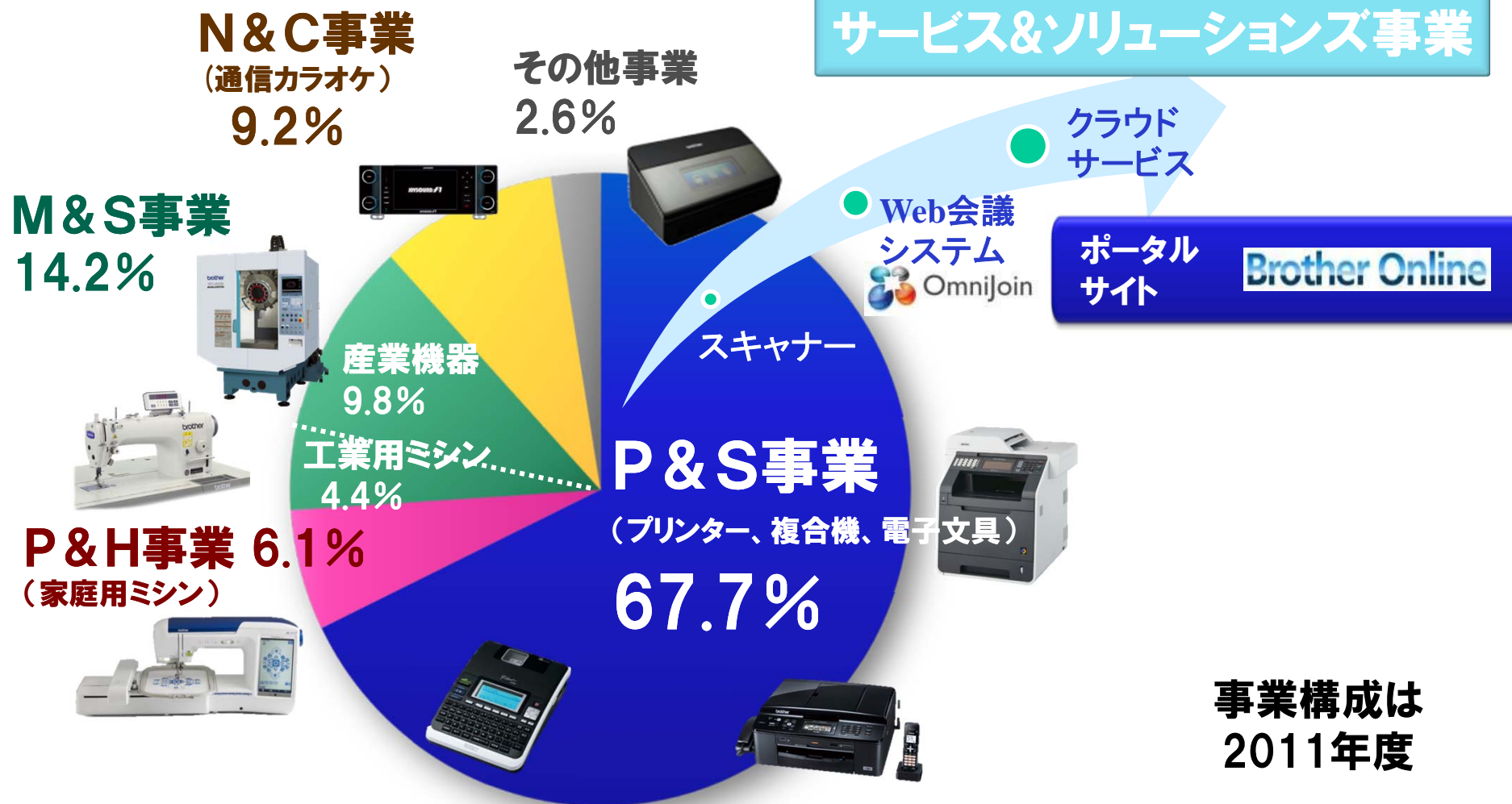


業務用通信カラオケ
JOYSOUND f1

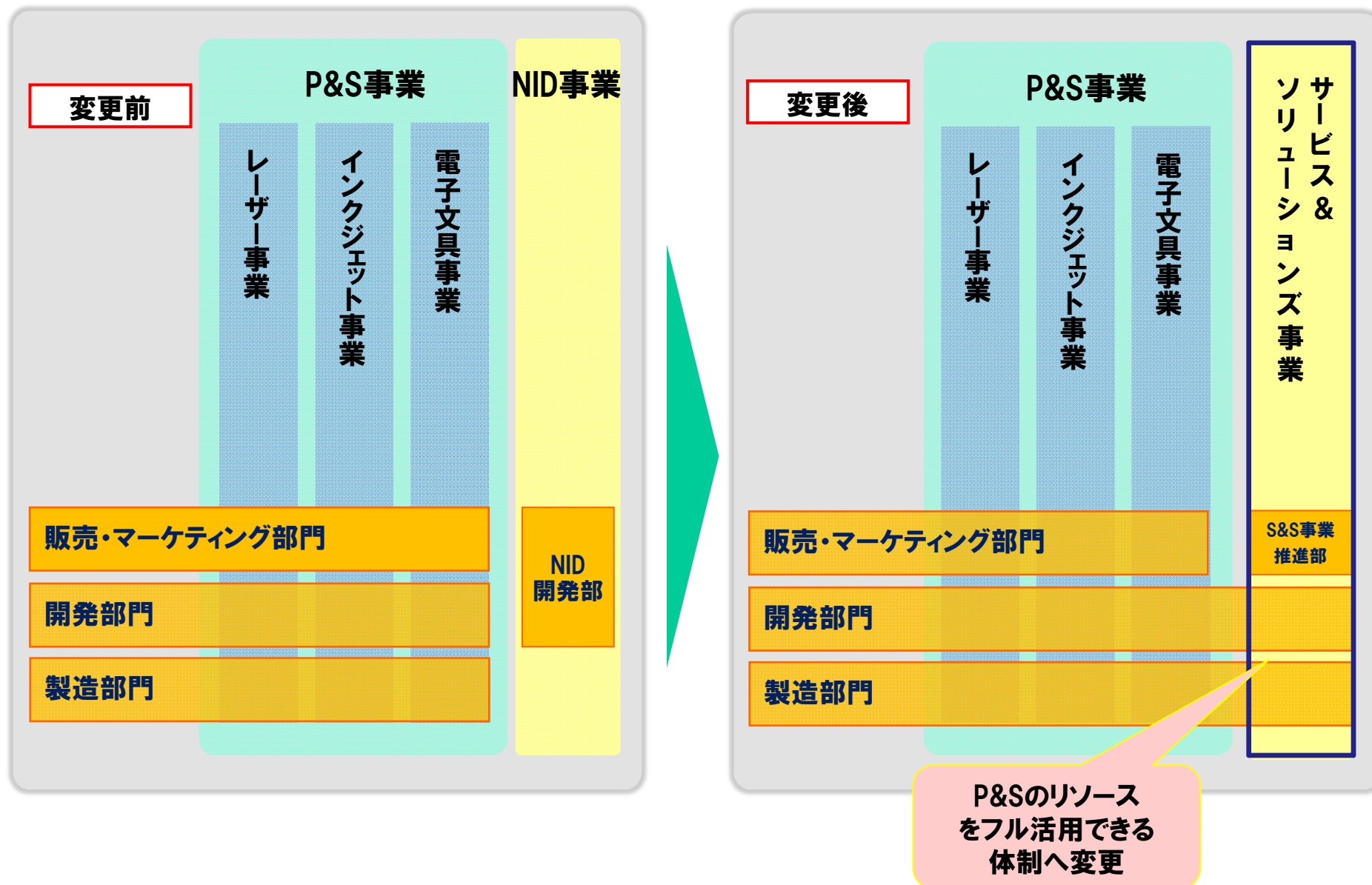
- ・業界最多となる、20万曲の楽曲を搭載
- ・「うたスキ」の「コラボ動画」など、エンタメ機能を大幅に強化
- ・専用機器との接続で、ギター演奏も可能に

新規事業拡大に向けた体制整備

プリンティング事業に加え、サービス&ソリューションズ事業を強化



新規事業拡大に向けた体制整備

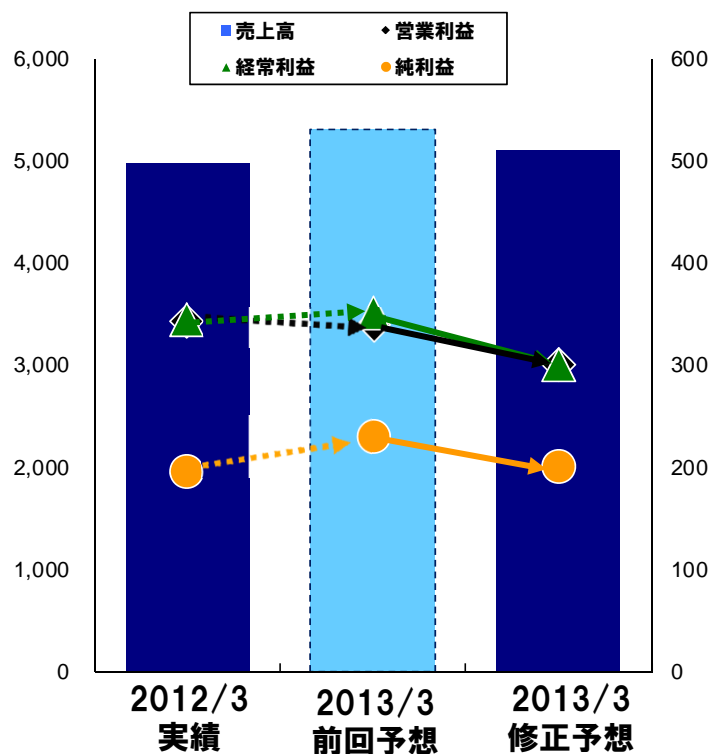


2013年3月期 業績予想

(億円)

売上高

利益



USD	79.30	80.07	78.74
EUR	110.17	104.01	100.62

()は為替影響を除いた増減率 単位: 億円

	2013年3月期 業績予想	対前年実績増減	対前回予想増減
売上高	5,100	4,974 +126 +2.5% (+4.9%)	5,300 Δ200 Δ3.8%
営業利益	300	342 Δ42 Δ12.2%	340 Δ40 Δ11.8%
経常利益	300	344 Δ44 Δ12.7%	350 Δ50 Δ14.3%
純利益	200	195 +5 +2.4%	230 Δ30 Δ13.0%

◆対前回予想比較でのポイント

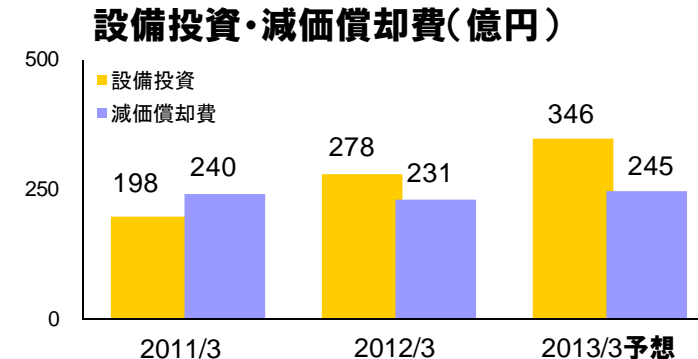
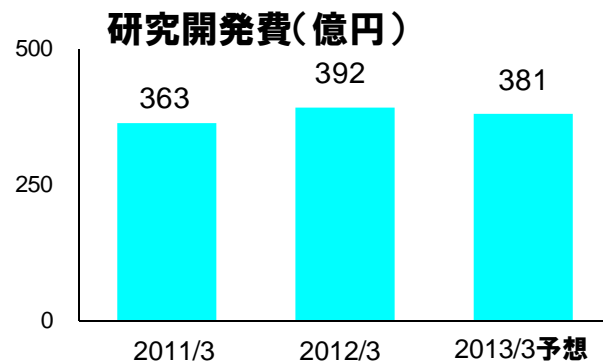
- ✓ 欧州・アジア地域での景気減速の影響と、ユーロ/円の想定レートを円高方向に見直した影響により、業績予想を下方修正
- ✓ 売上高は、通信・プリンティング機器の欧州・アジアでの見通しを引き下げ。工業用マシンは、厳しい市場環境の影響を受け、見通しを引き下げ。
- ✓ 営業利益は、主に為替を円高方向に見直したことや、工業用マシンの売上見通しを引き下げたことにより、下方修正

中期戦略に基づく成長戦略の推進

- ◆〈P&S〉各地域における新製品の確実な投入と、新興国向けモデルの開発など、成長に向けた研究開発の継続・推進
- ◆〈P&H〉中高級機種の新なる拡販と、新興国市場の開拓強化の推進
- ◆〈M&S〉景気動向を注視しつつ、確実な受注を目指す
- ◆〈N&C〉通信カラオケの新機種の新なる拡販を目指す
- ◆〈新規事業〉事業体制の確立と事業の推進

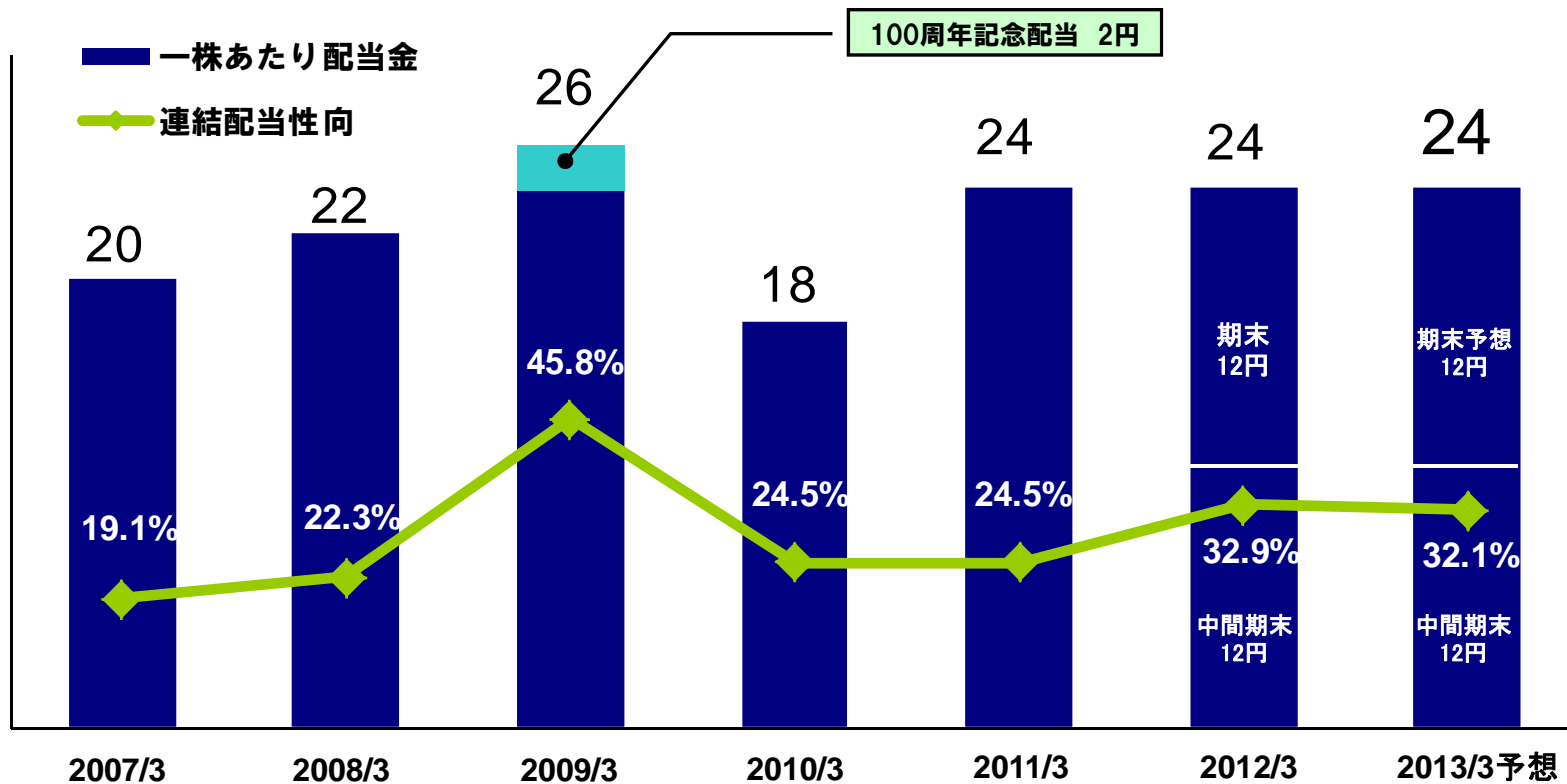
成長と収益を支える、「開発・製造」体制の強化を推進

- ◆成長に向けた研究開発投資は継続
- ◆生産体制強化、安全防災強化のための設備投資を実行



連結配当性向30%程度とする基本方針に変更なし
下期も安定的な配当を実施予定

配当の推移



2013年3月期 第2四半期の 決算内容と今期の見通し

連結決算の概要 <2013年3月期 第2四半期累計実績>



単位:億円

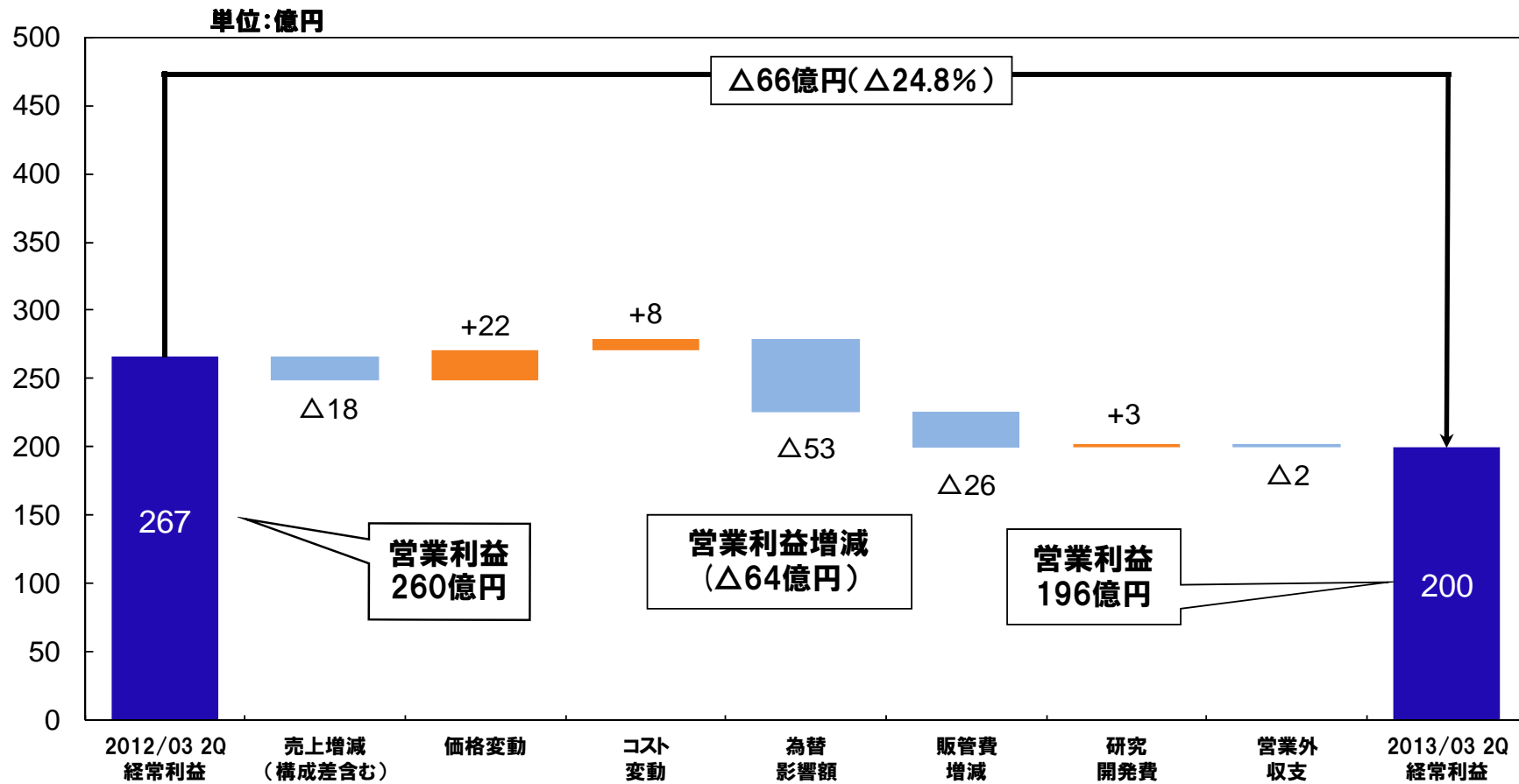
	第2四半期 6ヶ月累計			
	2013/3 2Q(累計実績)	2012/3 2Q(累計実績)	増減額	増減率 ()は為替影響を 除いた増減率
売上高	2,445	2,466	△ 20	△0.8% (2.7%)
営業利益	196	260	△ 64	△24.6%
営業利益率	8.0%	10.6%	△2.5%	
営業外損益	4	7	△ 2	
経常利益	200	267	△ 66	△24.8%
特別損益	△ 7	5	△ 13	
法人税他	45	137	△ 92	
四半期純利益	148	136	13	9.5%

単位:円

換算レート	USD	79.43	79.73	△ 0.30
		EUR	101.12	114.09

- 売上高は、為替のマイナス影響や、市況悪化に伴う工業用ミシンの大幅な減収はあったものの、産業機器と通信カラオケが堅調に推移し、ほぼ前年並みの水準を確保
- 営業利益は、主に為替のマイナス影響により、減益となる
- 四半期純利益は、税効果会計の影響により、法人税等が減少したことにより、増益となる

経常利益増減要因 <2013年3月期 第2四半期累計実績>

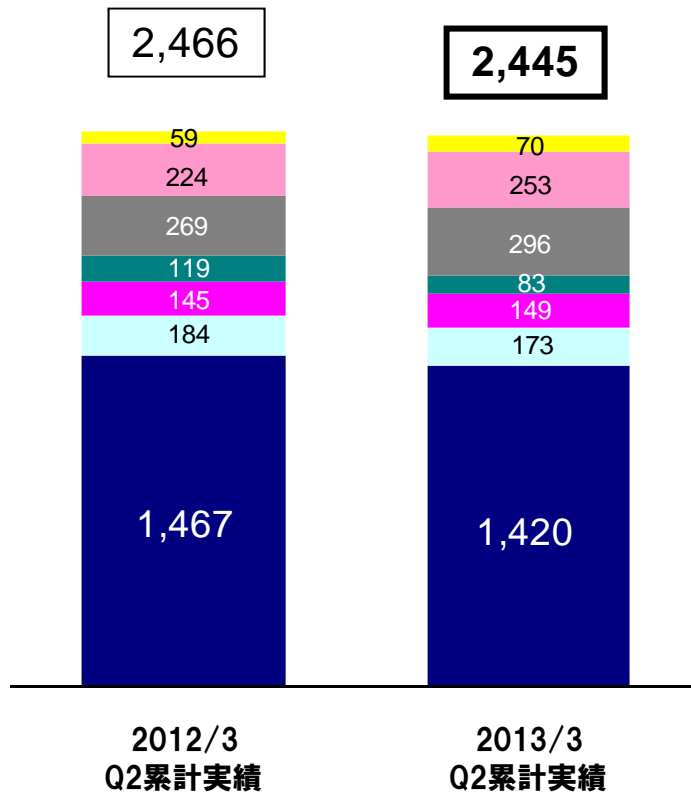


連結業績実績 セグメント別

<2013年3月期 第2四半期累計実績>

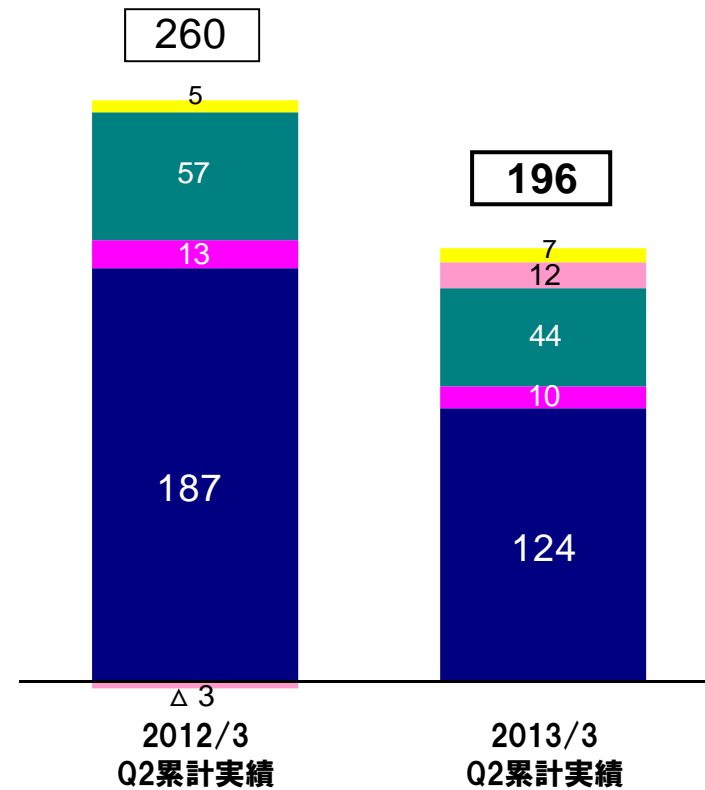


売上高 (億円)



- 通信・プリンティング機器
- 家庭用マシン
- 産業機器
- その他
- 電子文具
- 工業用マシン
- 通信カラオケ・コンテンツサービス

営業利益 (億円)



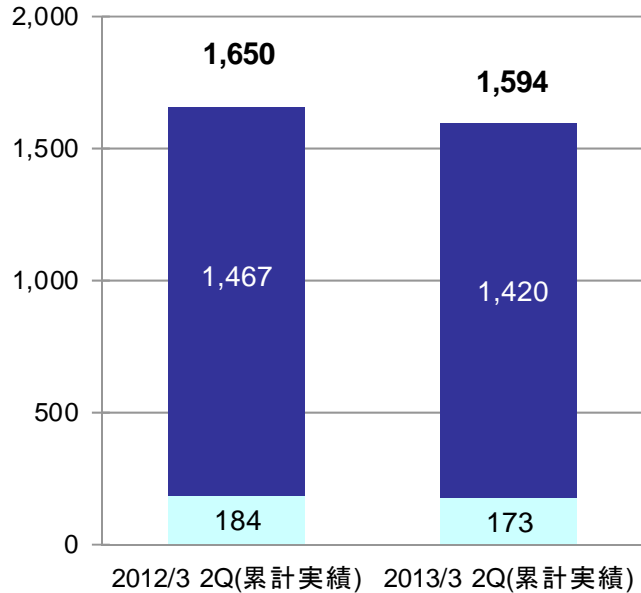
- プリンティング&ソリューションズ
- パーソナル&ホーム
- マシナリー&ソリューション
- ネットワーク&コンテンツ
- その他

プリンティング&ソリューションズ事業

売上高・営業利益 <2013年3月期 第2四半期累計実績>



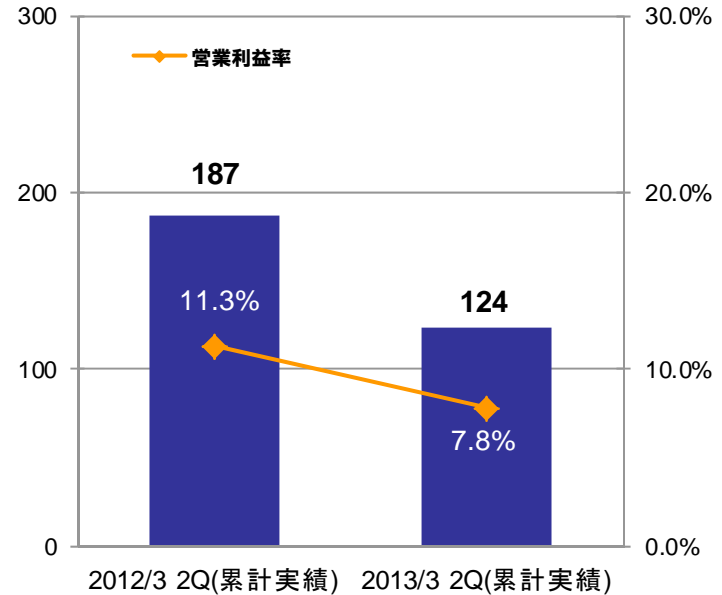
売上高 (億円)



増減率(為替影響除く)

通信・プリンティング機器	Δ3.2% (+1.7%)
電子文具	Δ5.6% (Δ1.3%)
合計	Δ3.4% (+1.4%)

営業利益 (億円)



通信・プリンティング機器

地域別売上高内訳(億円)

	2012/3 2Q(累計実績)	2013/3 2Q(累計実績)	増減率(為替影響除く)
米州	505	540	+7.0% (+9.8%)
欧州	542	464	Δ 14.3% (Δ4.3%)
アジア他	211	199	Δ 5.6% (Δ4.4%)
日本	209	217	+3.8% (+3.8%)

電子文具

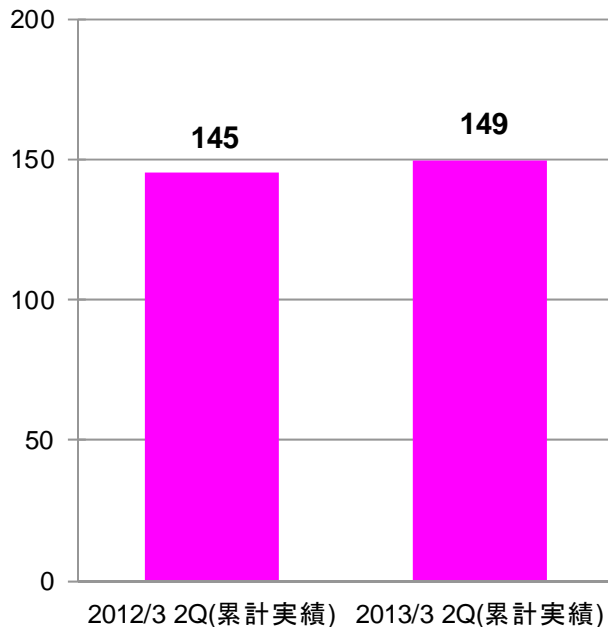
地域別売上高内訳(億円)

	2012/3 2Q(累計実績)	2013/3 2Q(累計実績)	増減率(為替影響除く)
米州	87	83	Δ5.1% (Δ3.2%)
欧州	57	51	Δ9.8% (+0.9%)
アジア他	21	20	Δ2.6% (Δ2.2%)
日本	19	19	+1.6% (+1.6%)

- 米州は堅調ながら、厳しい市場環境の影響により、欧州・アジア他地域において売上が減少
- 主に為替のマイナス影響により、減益となる

売上高

(億円)

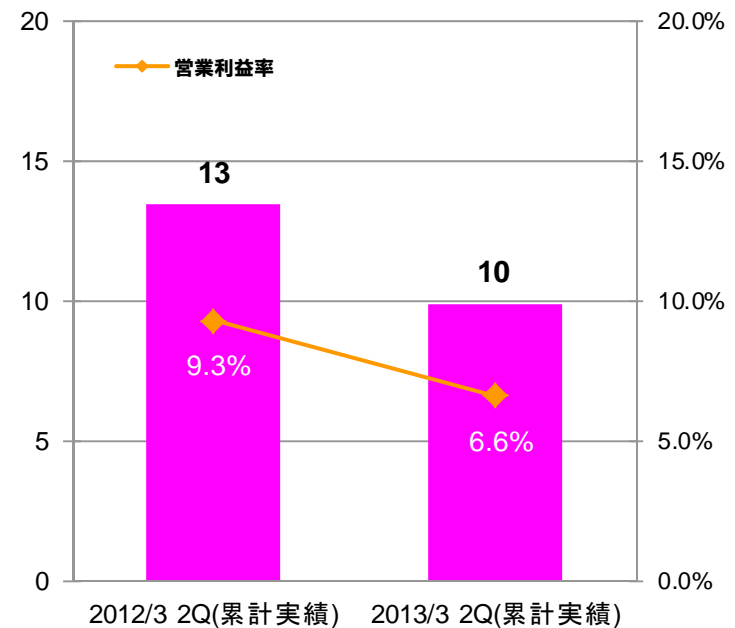


増減率(為替影響除く)

家庭用ミシン
+3.0% (+8.1%)

営業利益

(億円)



家庭用ミシン

地域別売上高内訳(億円)

	2012/3 2Q(累計実績)	2013/3 2Q(累計実績)	増減率(為替影響除く)
米州	71	73	+2.6% (+5.8%)
欧州	32	36	+11.2% (+26.2%)
アジア他	14	13	△5.5% (△3.8%)
日本	28	27	△1.2% (△1.2%)

- 売上高は、欧米で堅調に推移
- 増収とはなったものの、為替のマイナス影響や、コスト増の影響を受け、減益となる

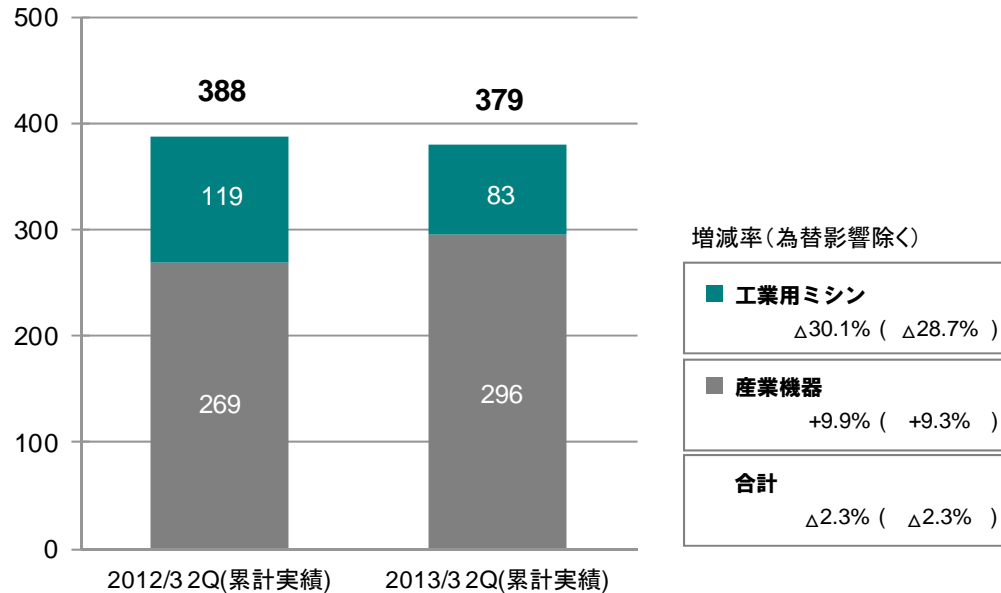
マシナリー&ソリューション事業

売上高・営業利益 <2013年3月期 第2四半期累計実績>



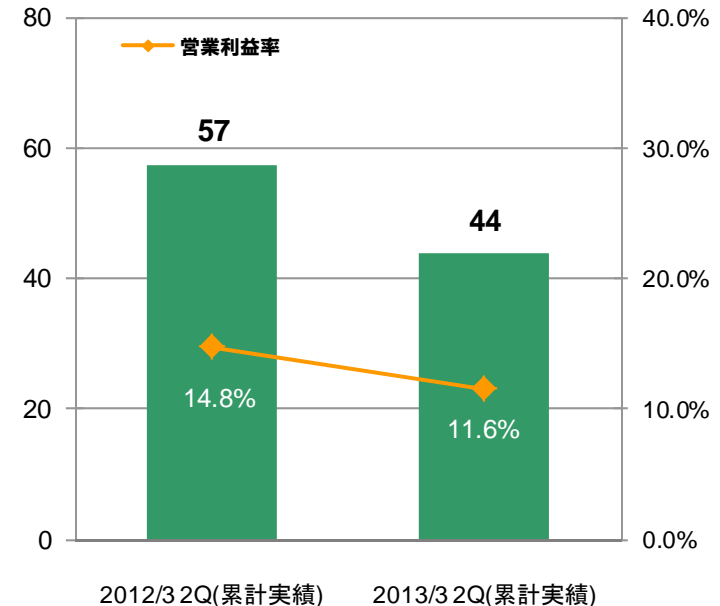
売上高

(億円)



営業利益

(億円)



工業用マシン

地域別売上高内訳(億円)

	2012/3 2Q (累計実績)	2013/3 2Q (累計実績)	増減率(為替影響除く)
米州	17	16	Δ2.4% (Δ1.6%)
欧州	18	13	Δ26.7% (Δ16.8%)
アジア他	81	51	Δ37.2% (Δ37.5%)
日本	3	3	Δ11.9% (Δ11.9%)

産業機器

地域別売上高内訳(億円)

	2012/3 2Q (累計実績)	2013/3 2Q (累計実績)	増減率
米州	8	10	+16.0%
欧州	11	6	Δ47.6%
アジア他	226	253	+12.2%
日本	24	27	+13.7%

- 産業機器はIT関連向けを中心に堅調に推移したものの、市況悪化の影響を受けた工業用マシンは大幅な減収となる
- 工業用マシンの減収による影響が大きく、減益となる

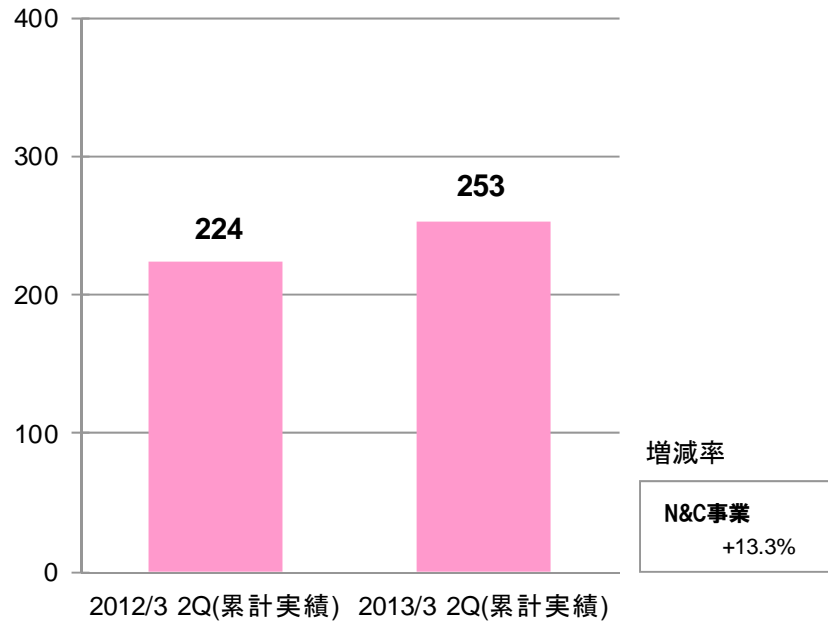
※産業機器については、主に日本から直接輸出しており、「所在地売上」が日本となりますので、日本からの仕向先地域別割合で簡便的に売上を按分して算出しております。

ネットワーク&コンテンツ事業

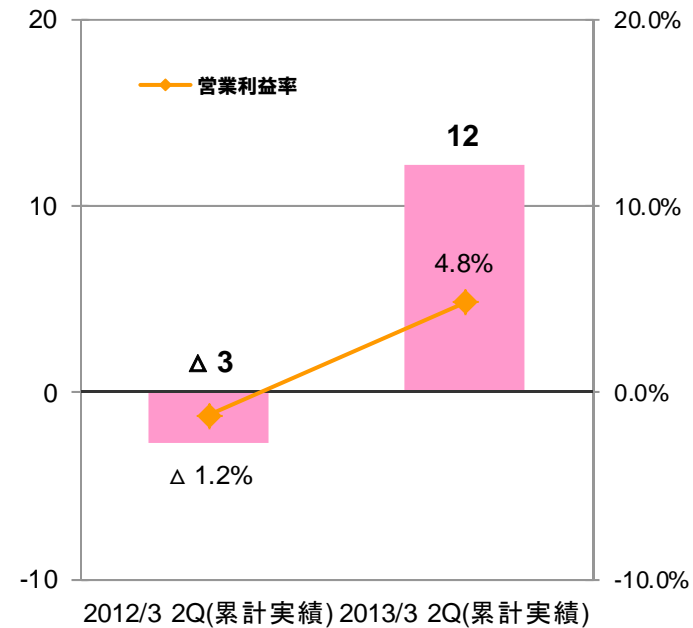
売上高・営業利益 <2013年3月期 第2四半期累計実績>



売上高 (億円)



営業利益 (億円)



- 通信カラオケ機器の新モデルが好調だったことにより、増収となる
- 増収により、黒字転換となる

※ネットワーク&コンテンツ事業の売上は、日本での売上が大半を占めるため、地域別の記載は省略しております。

連結業績予想の修正 <2013年3月期 通期予想>



単位:億円

	2013/3 予想 (A)	2012/3 実績 (B)	増減額 (A - B)	増減率 ()は為替影響を 除いた増減率 (A/B - 1)	2013/3 前回予想 (C)	増減率 (A/C - 1)
売上高	5,100	4,974	126	2.5% (4.9%)	5,300	△3.8%
営業利益	300	342	△42	△12.2%	340	△11.8%
営業利益率	5.9%	6.9%	△1.0%		6.4%	
営業外損益	0	2	△2		10	
経常利益	300	344	△44	△12.7%	350	△14.3%
特別損益	△10	△2	△8		△10	
法人税他	90	146	△56		110	
当期純利益	200	195	5	2.4%	230	△13.0%

単位:円

換算レート	USD	78.74	79.30	△0.56	80.07
	EUR	100.62	110.17	△9.55	104.01

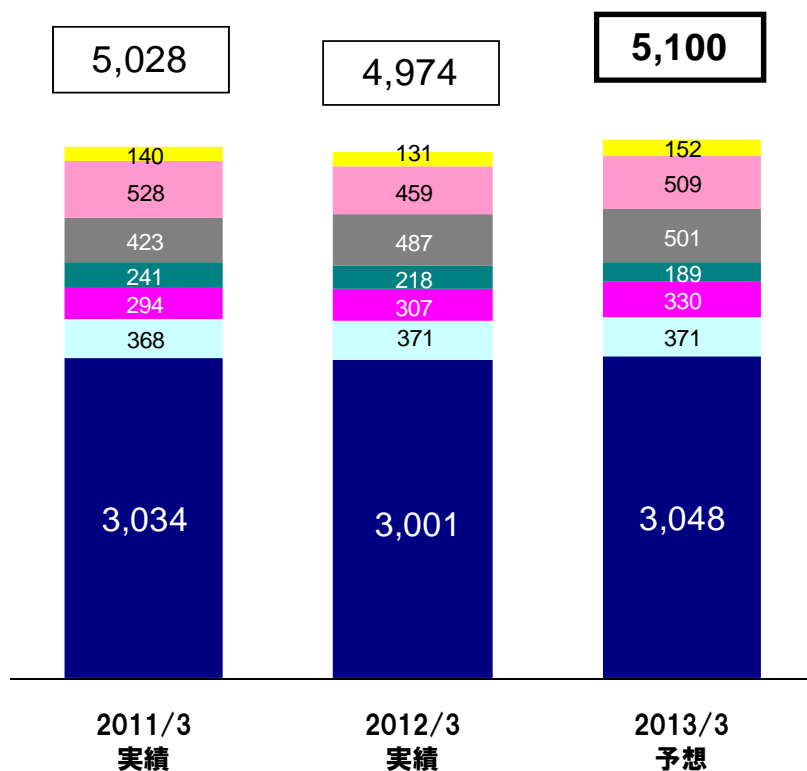
※ 2013年3月期の連結業績見通しの前提となる想定為替レートは、1米ドル=78円、1ユーロ=100円です。

※ 上記表内の2013年3月期の換算レートは、年間の平均レートです。

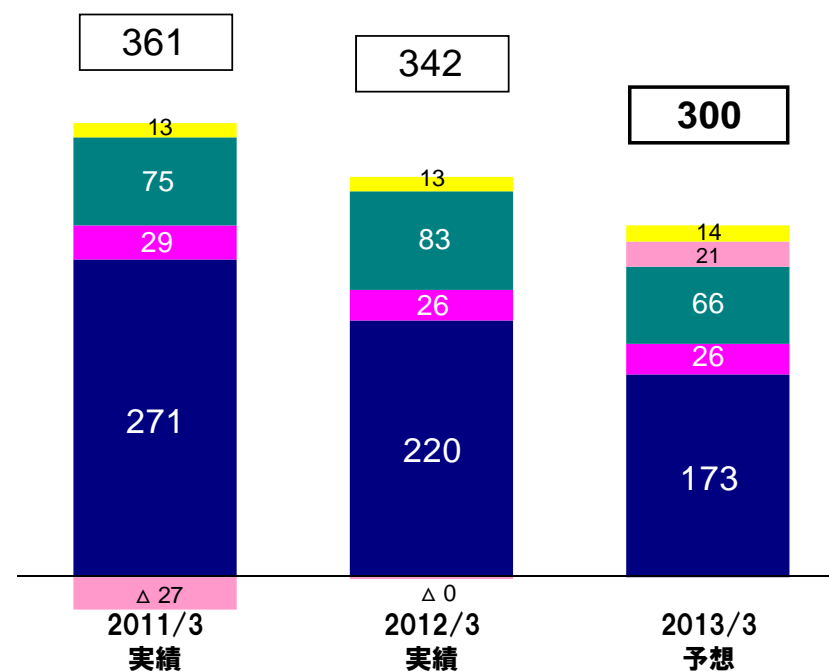
- ✓売上高は、為替のマイナス影響はあるものの、工業用マシンを除き、各事業とも増収となる見通し
- ✓営業利益は、主に為替のマイナス影響や、工業用マシンが減収となる影響により、減益となる見通し

2013年3月期 業績予想

売上高 (億円)



営業利益 (億円)



- 通信・プリンティング機器
- 家庭用マシン
- 産業機器
- その他
- 電子文具
- 工業用マシン
- 通信カラオケ・コンテンツサービス

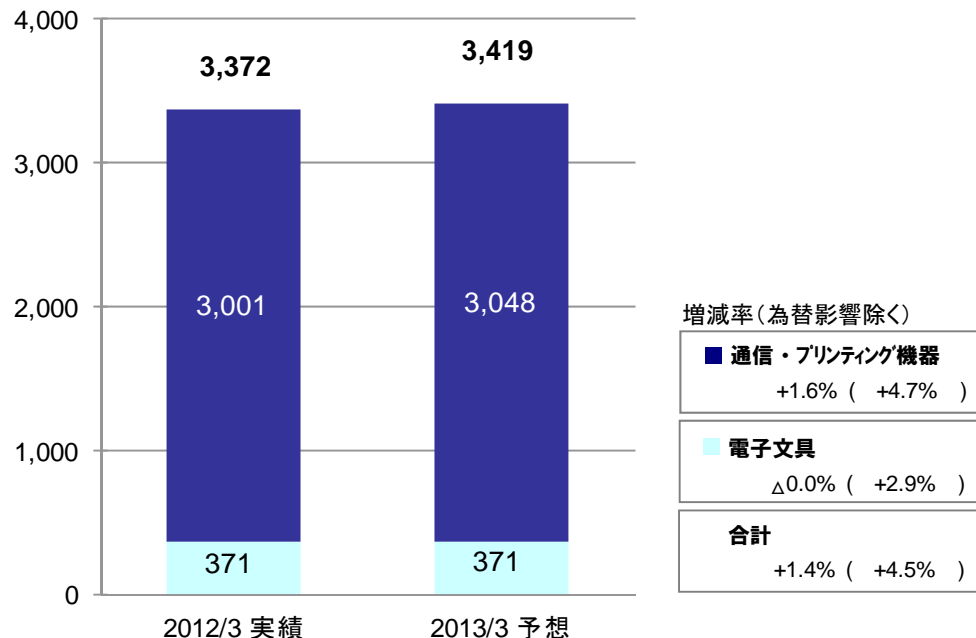
- プリンティング&ソリューションズ
- パーソナル&ホーム
- マシナリー&ソリューション
- ネットワーク&コンテンツ
- その他

プリンティング&ソリューションズ事業

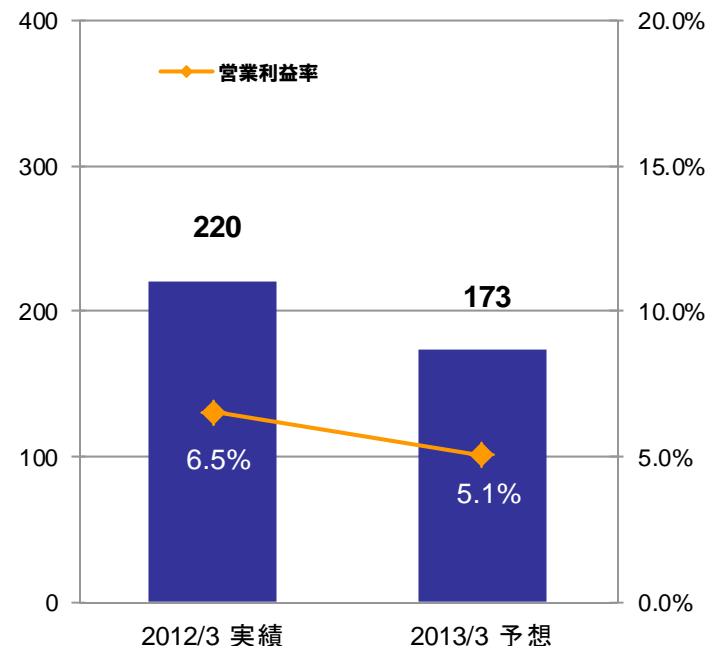
売上高・営業利益 <2013年3月期 通期予想>



売上高 (億円)



営業利益 (億円)



通信・プリンティング機器 地域別売上高内訳(億円)

	2012/3 実績	2013/3 予想	増減率(為替影響除く)
米州	1,045	1,141	+9.2% (+11.0%)
欧州	1,129	1,030	Δ 8.8% (Δ2.2%)
アジア他	399	407	+1.9% (+2.4%)
日本	427	470	+10.0% (+10.0%)

電子文具 地域別売上高内訳(億円)

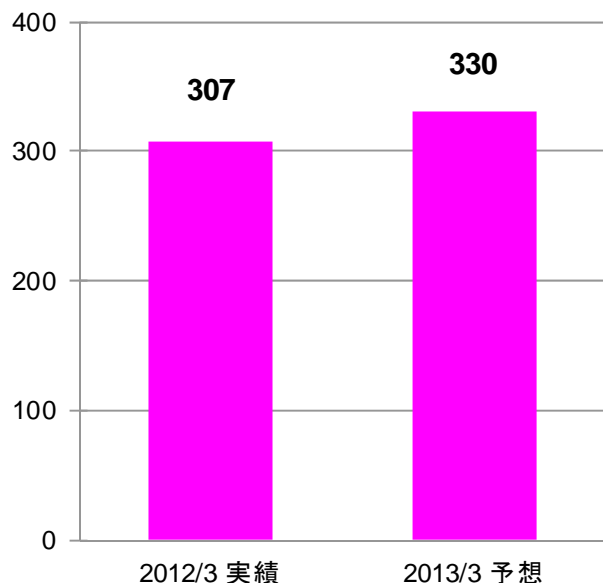
	2012/3 実績	2013/3 予想	増減率(為替影響除く)
米州	176	175	Δ0.5% (+0.8%)
欧州	116	111	Δ4.3% (+2.9%)
アジア他	43	42	Δ1.5% (Δ1.4%)
日本	36	43	+17.8% (+17.8%)

- 売上高は、主に米州で堅調に推移し、対前年で増収となる見込み
- 営業利益は、為替のマイナス影響や、減価償却費の増加の影響などにより、減益となる見込み

パーソナル&ホーム事業 売上高・営業利益 <2013年3月期 通期予想>



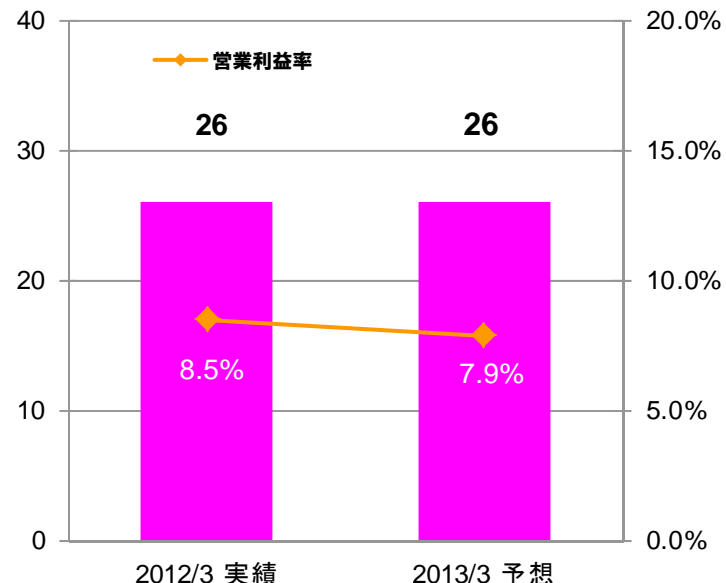
売上高 (億円)



増減率(為替影響除く)

家庭用ミシン
+7.5% (+10.6%)

営業利益 (億円)



家庭用ミシン 地域別売上高内訳 (億円)

	2012/3 実績	2013/3 予想	増減率(為替影響除く)
米州	148	165	+11.9% (+13.8%)
欧州	70	72	+3.4% (+12.8%)
アジア他	29	29	+1.6% (+2.1%)
日本	61	64	+4.3% (+4.3%)

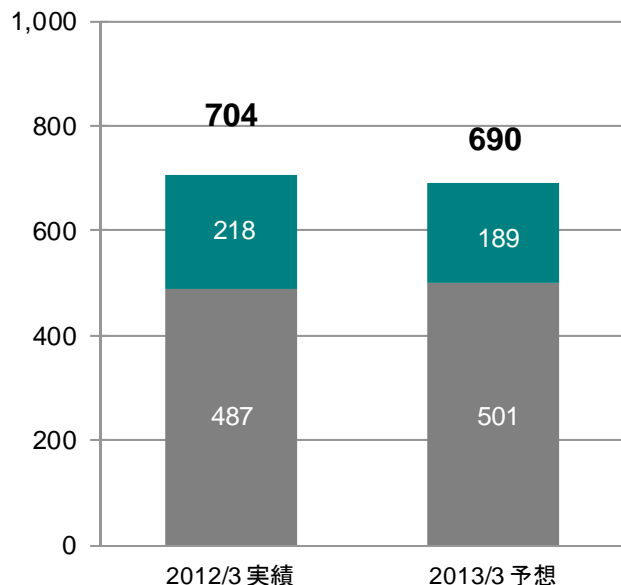
- 売上高は、米欧を中心に各地域で堅調に推移する見込み
- 営業利益は、ほぼ前年並みの水準となる見込み

マシナリー&ソリューション事業

売上高・営業利益 <2013年3月期 通期予想>



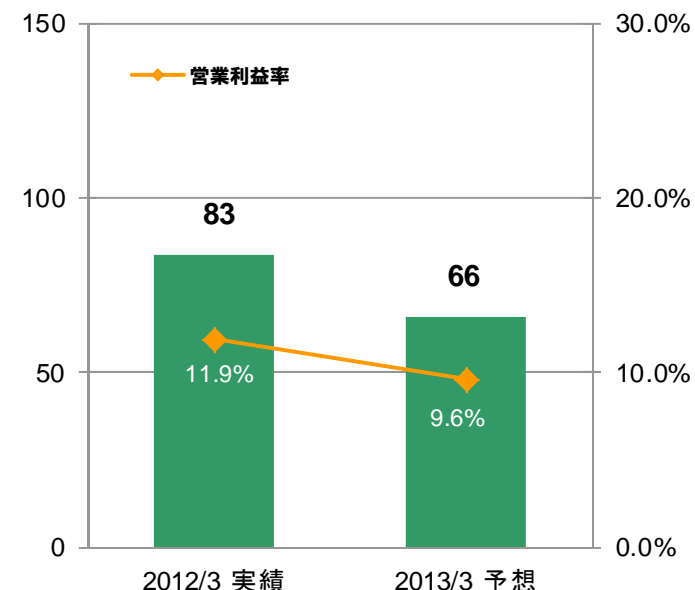
売上高 (億円)



増減率(為替影響除く)

工業用マシン	Δ13.1% (Δ11.7%)
産業機器	+2.9% (+2.7%)
合計	Δ2.0% (Δ1.8%)

営業利益 (億円)



工業用マシン 地域別売上高内訳(億円)

	2012/3 実績	2013/3 予想	増減率(為替影響除く)
米州	31	31	Δ1.2% (Δ0.5%)
欧州	30	30	+0.6% (+9.2%)
アジア他	151	124	Δ17.6% (Δ17.5%)
日本	6	4	Δ30.6% (Δ30.6%)

産業機器 地域別売上高内訳(億円)

	2012/3 実績	2013/3 予想	増減率
米州	18	16	Δ9.0%
欧州	15	11	Δ30.3%
アジア他	404	422	+4.5%
日本	50	52	+4.3%

- 売上高は、工業用マシンの市況悪化の影響により、若干の減収となる見込み
- 営業利益は、工業用マシンの減収影響が大きく、減益となる見通し

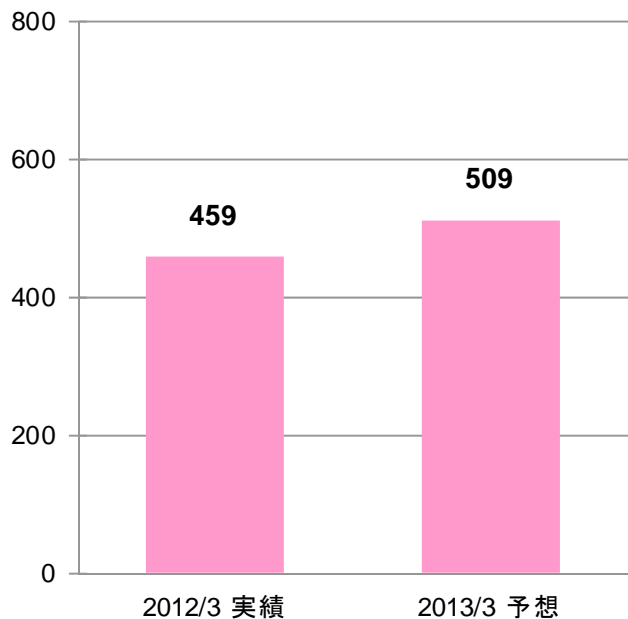
※産業機器については、主に日本から直接輸出しており、「所在地売上」が日本となりますので、日本からの仕向先地域別割合で簡便的に売上を按分して算出しております。

ネットワーク&コンテンツ事業

売上高・営業利益 <2013年3月期 通期予想>

売上高

(億円)

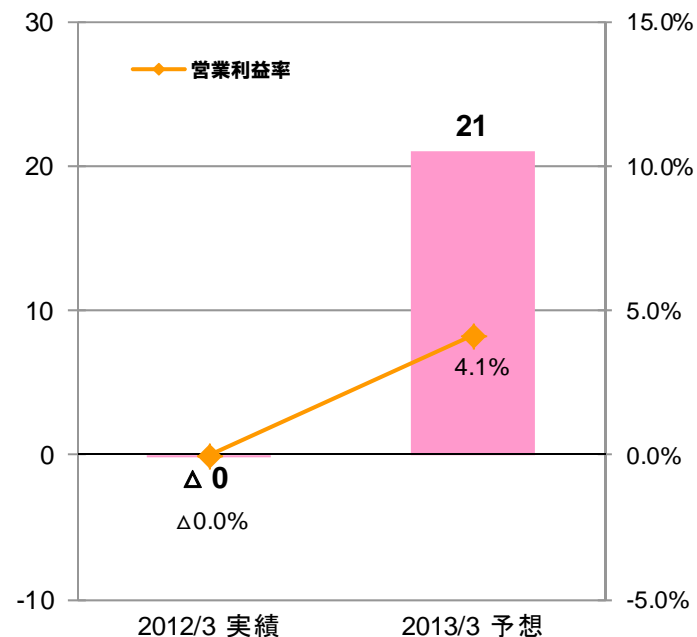


増減率

N&C事業
+10.8%

営業利益

(億円)



- 売上高は、通信カラオケの新機種投入の効果などにより、増収となる見込み
- 営業利益は、増収に伴い黒字転換する見込み

※ネットワーク&コンテンツ事業の売上は、日本での売上が大半を占めるため、地域別の記載は省略しております。

連結決算の概要 < 2013年3月期 2Q(7-9月実績) >



単位:億円

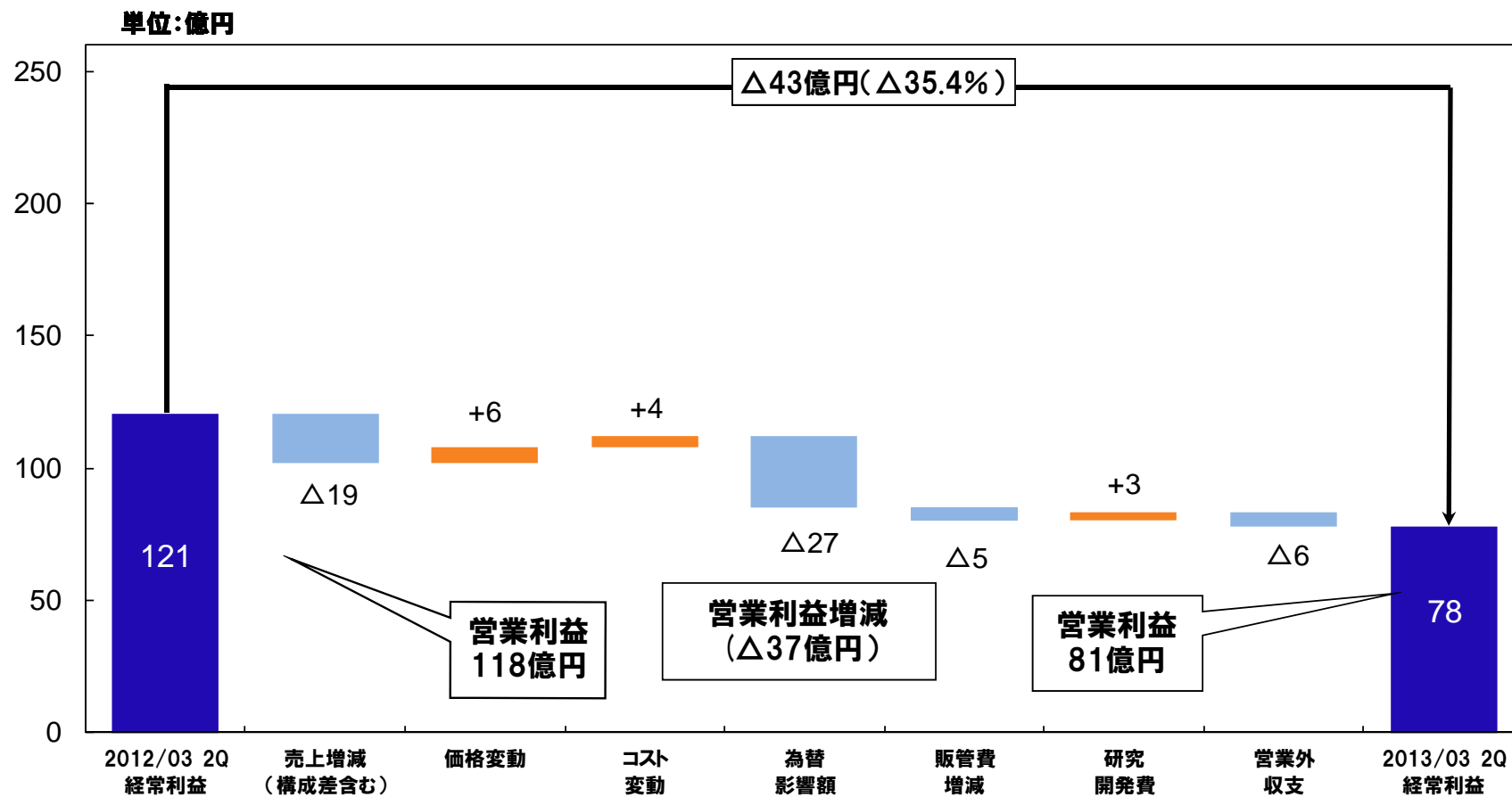
	第2四半期 3ヶ月間			
	2013/3 2Q(3ヶ月実績)	2012/3 2Q(3ヶ月実績)	増減額	増減率 ()は為替影響を 除いた増減率
売上高	1,239	1,238	1	0.1% (2.6%)
営業利益	81	118	△ 37	△31.5%
営業利益率	6.5%	9.5%	△3.0%	
営業外損益	△ 3	3	△ 6	
経常利益	78	121	△ 43	△35.4%
特別損益	△ 4	△ 3	△ 0	
法人税他	29	48	△ 19	
四半期純利益	45	70	△ 24	△35.0%

単位:円

換算レート	USD	78.42	77.99	0.43
	EUR	98.30	110.76	△ 12.46

- 売上高は、為替のマイナス影響や、市況悪化に伴う工業用ミシンの大幅な減収はあったものの、産業機器と通信カラオケが堅調に推移し、ほぼ前年並みの水準を確保
- 営業利益は、為替のマイナス影響や、工業用ミシンの不振により、減益となる

経常利益増減要因 <2013年3月期 2Q(7-9月実績)>

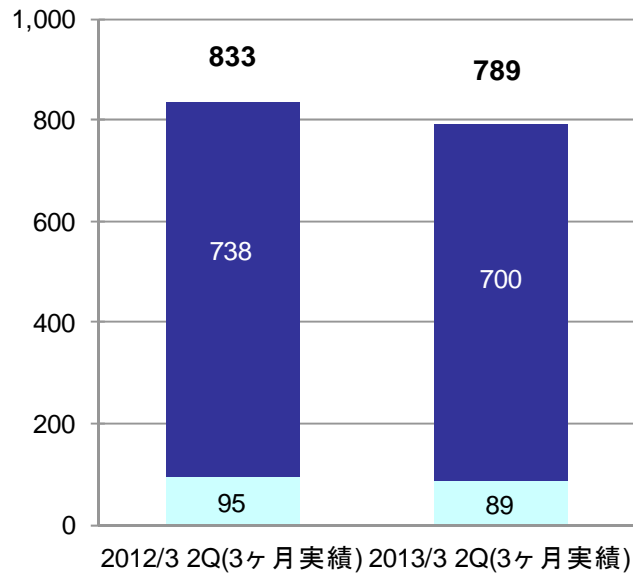


プリンティング&ソリューションズ事業

売上高・営業利益 <2013年3月期 2Q(7-9月期)>



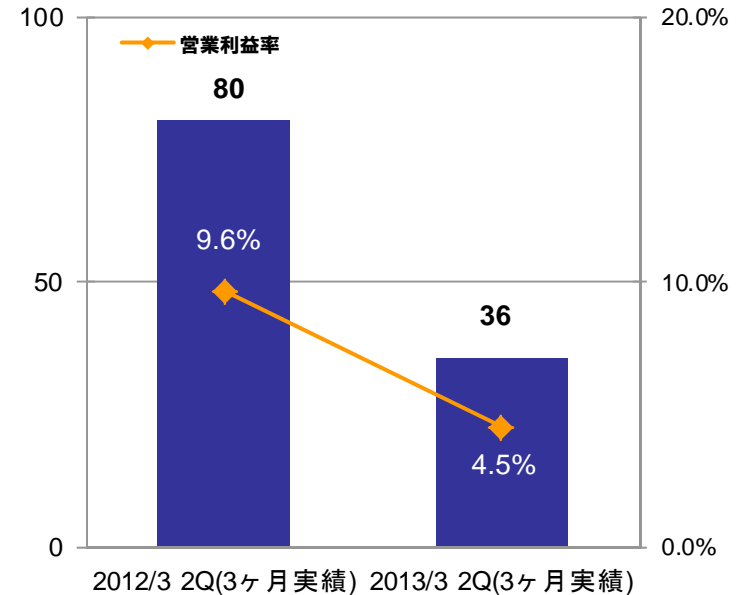
売上高 (億円)



増減率(為替影響除く)

■ 通信・プリンティング機器	Δ5.1% (Δ1.5%)
■ 電子文具	Δ7.1% (Δ4.0%)
合計	Δ5.4% (Δ1.8%)

営業利益 (億円)



通信・プリンティング機器

地域別売上高内訳(億円)

	2012/3 2Q(3ヶ月実績)	2013/3 2Q(3ヶ月実績)	増減率(為替影響除く)
米州	259	271	+4.7% (+5.9%)
欧州	265	221	Δ 16.5% (Δ7.5%)
アジア他	105	97	Δ 8.1% (Δ8.0%)
日本	109	111	+1.9% (+1.9%)

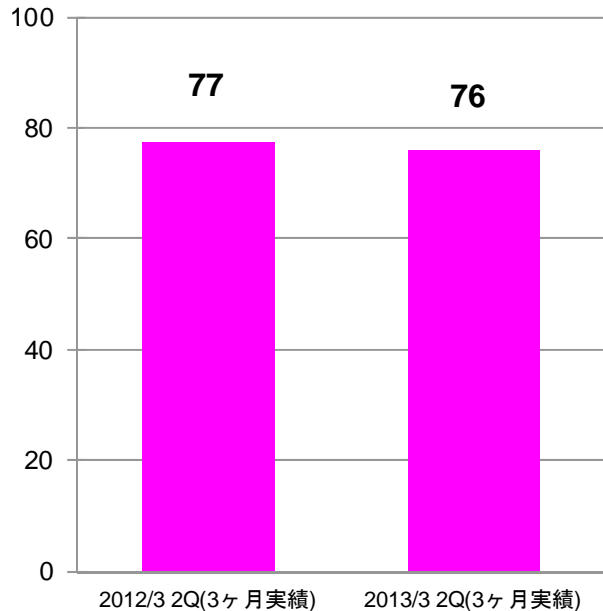
電子文具

地域別売上高内訳(億円)

	2012/3 2Q(3ヶ月実績)	2013/3 2Q(3ヶ月実績)	増減率(為替影響除く)
米州	45	42	Δ7.4% (Δ6.9%)
欧州	29	26	Δ10.2% (Δ0.2%)
アジア他	10	10	Δ5.9% (Δ6.4%)
日本	11	11	+0.5% (+0.5%)

売上高

(億円)

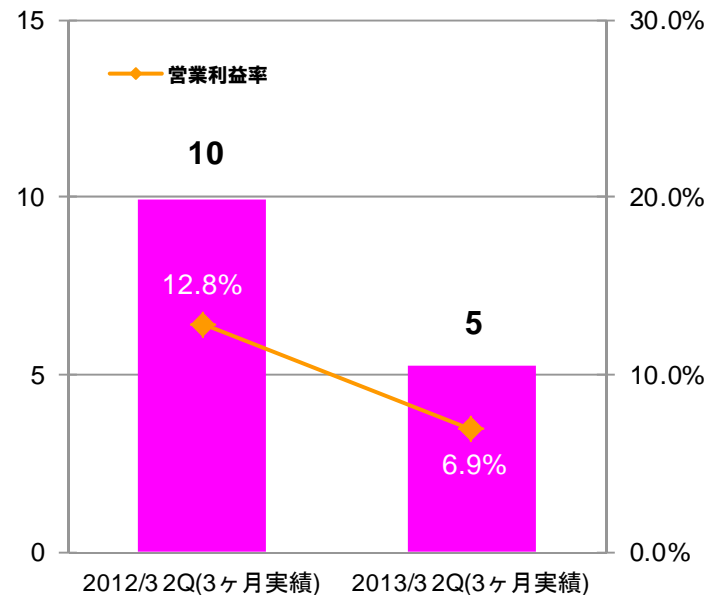


増減率(為替影響除く)

家庭用ミシン
 $\Delta 2.0\%$ ($+1.6\%$)

営業利益

(億円)



家庭用ミシン

地域別売上高内訳(億円)

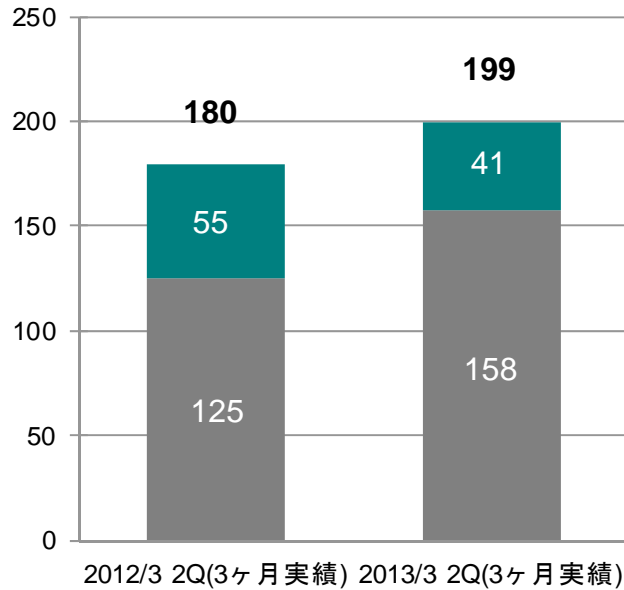
	2012/3 2Q(3ヶ月実績)	2013/3 2Q(3ヶ月実績)	増減率(為替影響除く)
米州	39	39	$\Delta 0.5\%$ (+1.2%)
欧州	18	17	$\Delta 4.4\%$ (+7.7%)
アジア他	7	7	$\Delta 5.8\%$ ($\Delta 5.4\%$)
日本	14	13	$\Delta 1.4\%$ ($\Delta 1.4\%$)

マシナリー&ソリューション事業

売上高・営業利益 <2013年3月期 2Q(7-9月期)>



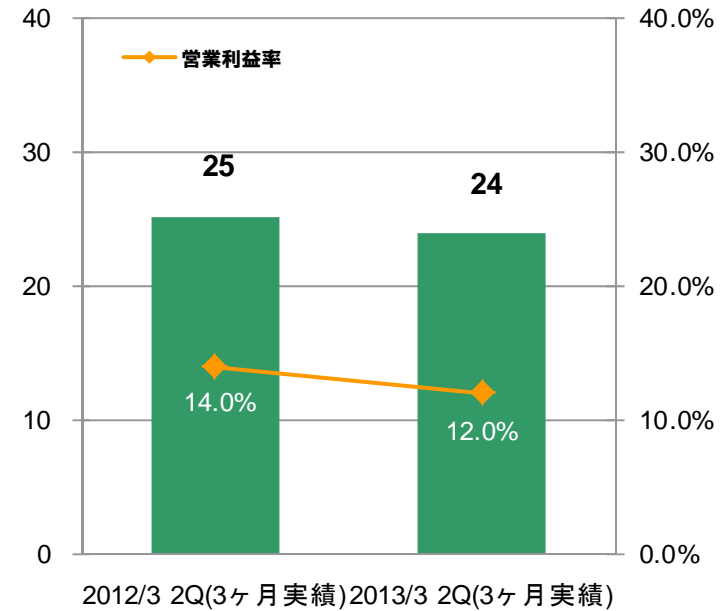
売上高 (億円)



増減率(為替影響除く)

工業用マシン	Δ24.1% (Δ23.2%)
産業機器	+26.1% (+25.2%)
合計	+10.9% (+10.5%)

営業利益 (億円)



工業用マシン

地域別売上高内訳(億円)

	2012/3 2Q(3ヶ月実績)	2013/3 2Q(3ヶ月実績)	増減率(為替影響除く)
米州	8	8	Δ8.1% (Δ8.5%)
欧州	7	6	Δ15.7% (Δ5.0%)
アジア他	37	26	Δ29.9% (Δ30.7%)
日本	2	1	Δ10.6% (Δ10.6%)

産業機器

地域別売上高内訳(億円)

	2012/3 2Q(3ヶ月実績)	2013/3 2Q(3ヶ月実績)	増減率
米州	3	4	+23.7%
欧州	5	2	Δ53.6%
アジア他	103	139	+34.7%
日本	14	13	Δ8.6%

※産業機器については、主に日本から直接輸出しており、「所在地売上」が日本となりますので、日本からの仕向先地域別割合で簡便的に売上を按分して算出しております。

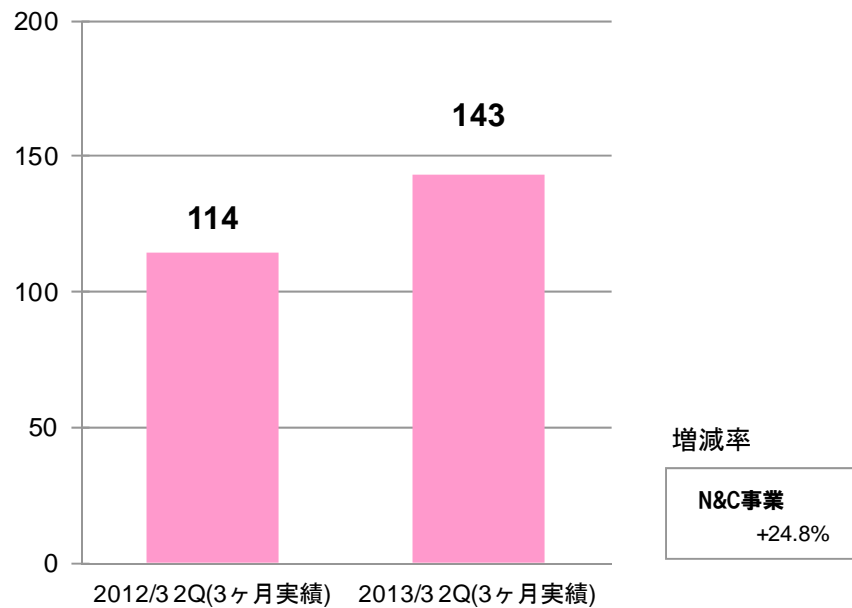
ネットワーク&コンテンツ事業

売上高・営業利益 <2013年3月期 2Q(7-9月期)>



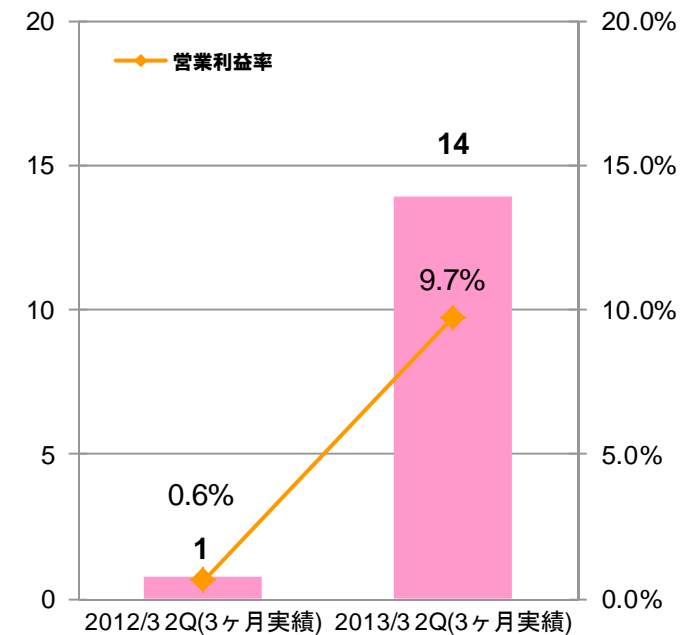
売上高

(億円)



営業利益

(億円)



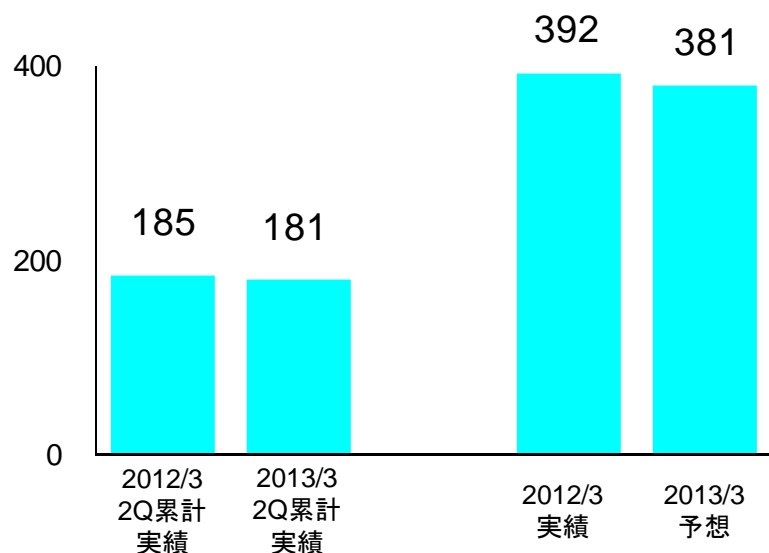
※ネットワーク&コンテンツ事業の売上は、日本での売上が大半を占めるため、地域別の記載は省略しております。

【参考】研究開発費・設備投資・減価償却費・棚卸資産



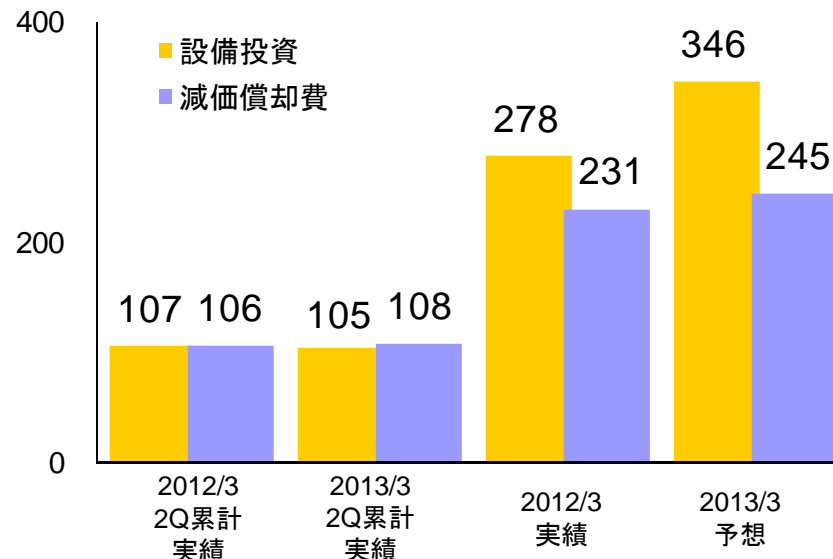
研究開発費

(億円)



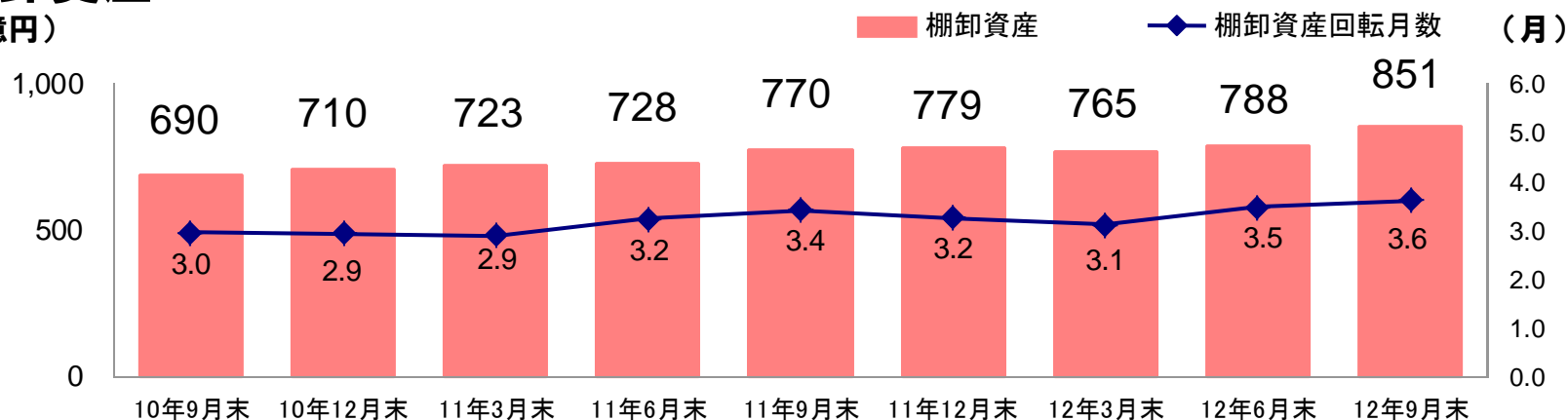
設備投資・減価償却費

(億円)



棚卸資産

(億円)



※棚卸資産回転月数＝棚卸資産÷(1ヶ月平均売上原価)

brother
at your side